

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-208780

(43)Date of publication of application : 26.07.1994

(51)Int.Cl. G11B 27/024
G06F 15/40
G06F 15/40

(21)Application number : 05-002248

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 11.01.1993

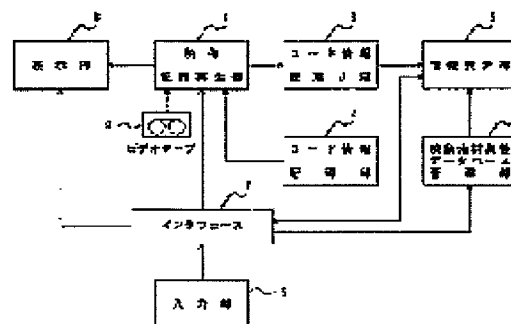
(72)Inventor : ABE SHOZO

(54) IMAGE MATERIAL MANAGEMENT SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a media edition system in which a required image material can be taken out easily from an image recording medium.

CONSTITUTION: When a tape 9 is set at a recording/playing section 1, a read out section 3 reads out a code data from a recording section 2 and a retrieving section 5 performs directory retrieval in a data base managing section 4 using the code data as a retrieval key. When a target directory is not found, title name of the tape 9 is matched with the code data and a data representative of the attributes of image material to be edited is registered at a directory having the title name as a directory name. When a target directory is found, an interface 7 presents a material list on a display section 8 based on the attribute data registered at that directory. When a user selects a material with reference to the list, that material is reproduced at the recording/reproducing section 1.



(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-208780

(43)公開日 平成6年(1994)7月26日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 1 1 B 27/024

G 0 6 F 15/40

7218-5L

5 3 0 Q 7218-5L

8224-5D

G 1 1 B 27/ 02

C

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平5-2248

(22)出願日 平成5年(1993)1月11日

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72)発明者 阿部 省三

神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社

東芝柳町工場内

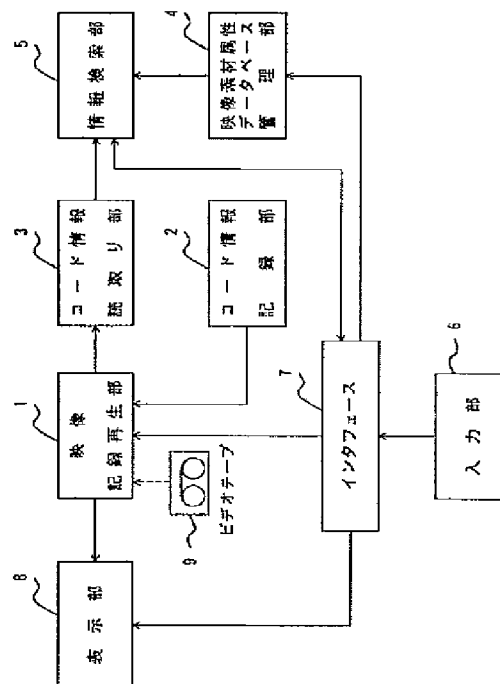
(74)代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54)【発明の名称】 映像素材管理装置

(57)【要約】

【目的】 マルチメディア編集システムにおいて、映像が記録された記録媒体から必要な映像素材を手間をかけずに容易に取り出せるようにする。

【構成】 記録再生部1にテープ9がセットされると、記録部2により記録されたコードデータが読取り部3により読取られ、同データを検索キーとするデータベース管理部4内でのディレクトリ検索が検索部5により行われる。目的ディレクトリがない場合、管理部4では、テープ9のタイトル名が上記コードデータに対応させられて、そのタイトル名をディレクトリ名とするディレクトリに、テープ9の映像中で編集対象とする映像素材の属性を示すデータが登録される。一方、目的ディレクトリがある場合は、そのディレクトリに登録されている属性データをもとに、インタフェース7が素材リストを表示部8に表示し、ユーザが同リストを参照して素材選択を行うと、その素材を記録再生部1で再生させる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 映像を記録媒体に記録し、前記記録媒体に記録された映像を再生する映像記録再生手段と、前記記録再生手段により再生された映像を表示する表示手段と、

前記映像を記録した記録媒体に前記映像の属性を示す映像属性情報を記録する情報記録手段と、

前記記録媒体に記録された映像属性情報を読取る情報読取り手段と、

前記記録媒体に記録された映像中で、編集の対象となる映像素材について、同素材の属性を示す映像素材属性データを前記記録媒体単位で登録管理するデータベース管理手段と、

前記情報記録読取り手段により読取られた映像属性情報を検索キーとして前記データベース管理手段により管理されている前記映像素材属性データを検索する検索手段とを具備し、

前記検索手段により検索された映像素材属性データに基づいて、編集の対象とする映像素材が取り出せるようにしたことを特徴とする映像素材管理装置。

【請求項 2】 前記データベース管理手段は、前記属性情報と、前記記録媒体を識別するための記録媒体識別名とを対応付け、同識別名をディレクトリ名としたディレクトリに前記映像素材属性データを一括登録し、同データを管理することを特徴とする請求項 1 記載の映像素材管理装置。

【請求項 3】 前記情報記録手段は、前記属性情報として、日付時刻情報、もしくは日付情報を前記記録媒体に記録することを特徴とする請求項 1 記載の映像素材管理装置。

【請求項 4】 任意の文字情報を入力するための入力手段をさらに備え、前記情報記録手段は、前記入力手段により入力された前記文字情報を前記属性情報として、前記記録媒体に記録することを特徴とする請求項 1 記載の映像素材管理装置。

【請求項 5】 前記データベース管理手段は、前記属性情報をディレクトリ名としたディレクトリに、前記映像素材属性データを一括登録し、同データを管理することを特徴とする請求項 3 または請求項 4 記載の映像素材管理装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】本発明は、マルチメディア編集システムに係り、特に映像素材の編集に用いて好適な映像素材管理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、マルチメディア編集システムにおいては、従来からのテキスト、図形情報などに加えて、画像を取り入れることにより、多彩な表現を実現することができるようになってきている。さらに、最近では、

このマルチメディア編集システムにおいても、映像情報といったメディアを扱うことができるようになってきている。一般に、映像は、伝えたい事柄を一目瞭然に示することができるため、非常に有効な情報伝達手段として広く利用されている。

【0003】このように有効な情報伝達手段である映像メディアを扱う装置として、現在最も普及しているのは VTR（ビデオテープレコーダ）である。例えば、カメラ一体型 VTR などを使うことにより、簡単に必要とする映像を扱うことができる。また、社会にはビデオライブラリーとして膨大な量の映像が用意されているので、一般ユーザが使える映像も少なくない。

【0004】この一方で、ハードウェアの発達によりコンピュータと映像機器との融合が实际的システムで考えられるようになってきている。具体的には、VTR 映像を編集して、必要な映像をマルチメディアに取り入れることが、低価格の編集システムにおいても容易に実行できるようになってきている。

【0005】この映像編集作業において、従来は、映像編集者が手作業で映像の記録されたビデオテープの再生を繰り返しながら、必要な映像を取得するということが行われていた。

【0006】また、コンピュータ利用の編集システムも知られている。このシステムでは、テープ再生などの動作をコンピュータ制御で行うことができるようになってはいるが、システム側が映像の内容を理解して編集しているわけではない。すなわち、再生などの単調な繰り返し動作をコンピュータ制御で行うことで、従来の手作業による編集に比べて多少効率は良くなってはいる。しかし、映像から必要な部分を取り出して加工するという映像編集本来の作業は、基本的には何等手作業と変わりない。このため、編集者は依然手間のかかる編集作業を行っているというのが現状である。さらに、扱うビデオテープが多くなってくると、その管理が非常に繁雑となり、本来の映像編集作業に支障を来すことになる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】このように、従来の映像編集システムにあっては、手間のかかる映像編集作業となっていた。また、編集するビデオテープが複数になると、映像編集者はコンピュータ上でのデータとの対応を覚えておかなければならないため、映像編集者にとっては非常に面倒な編集作業となってしまう、映像編集者の編集意欲を削ぐことにもなりかねなかった。

【0008】本発明は、上記事情を考慮してなされたものであり、その目的は、マルチメディア編集システムにおいて、映像が記録された記録媒体から必要な映像素材を手間をかけずに容易に取り出すことができ、かつ複数の記録媒体に記録された映像を扱う場合でも、容易に映像編集ができるように映像素材を管理する映像素材管理装置を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明は、映像記録再生手段と、再生された映像を表示する手段と、記録媒体に映像の属性情報を記録する手段と、記録媒体に記録された属性情報を読み取る手段と、記録媒体に記録された映像中で編集対象となる映像素材の属性を示す映像素材属性データを記録媒体単位で登録管理する手段と、記録媒体から読取られた属性情報を検索キーとして、映像素材属性データを検索する手段とを備え、検索された映像素材属性データに基づいて、編集の対象とする映像素材を取り出せるようにしたことを特徴とする。

【0010】また、本発明は、記録媒体に記録されている映像の属性情報と、この記録媒体を識別するための記録媒体識別名との対応付けを行い、この識別名をディレクトリ名としたディレクトリに上記映像素材属性データを一括登録して、同データを管理することを特徴とする。

【0011】

【作用】上記の構成において、映像素材設定時には、映像記録再生手段に映像が記録された記録媒体がセットされると、情報記録手段により、この映像の属性を示す映像属性情報が記録される。記録媒体に記録された映像属性情報は、情報読取り手段により読取られ、検索手段に出力される。

【0012】検索手段は、データベース管理手段内で、読取り手段により出力された映像属性情報に対応する記録媒体識別名を検索する。この結果、対応する識別名が無ければ、データベース管理手段により、この記録媒体の識別名をディレクトリとしてディレクトリが作成され、このディレクトリに、現在、記録再生手段にセットされている記録媒体に記録されている映像中で、編集対象となる映像素材の属性を示す映像素材属性データが一括登録される。また、これと共に、映像属性情報は、記録媒体識別名と対をなして、データベース管理手段により、登録管理される。

【0013】編集時には、映像素材設定済みの記録媒体が記録再生手段にセットされると、情報読取り手段により、映像属性情報が読み取られ、検索手段に出力される。検索手段は、素材設定時に、データベース管理手段により、この映像属性情報と対をなして登録された識別名を検出し、この識別名をディレクトリ名としたディレクトリをデータベース管理手段内で検索する。この結果、検索されたディレクトリに登録されている映像素材属性データをもとに、編集の対象とする映像素材が、取出し可能となる。

【0014】上記データベース管理手段では、新規にディレクトリを作成する都度、そのディレクトリに対応する映像属性情報が、記録媒体識別名（ディレクトリ名）と対をなして登録されるので、現在、記録再生手段にセットされている記録媒体から読取られた映像属性情報を

検索キーとして検索されたディレクトリに登録されている全映像素材属性データに基づいて、映像素材のリストを表示手段により表示することにより、その記録媒体上の映像素材のリスト全体を見ることができる。

【0015】上記の構成において、映像素材の管理は、記録媒体毎に記録される映像属性情報の情報量に依存する。そこで、映像属性情報として、例えば、日付時刻情報を用いて年月日時分秒まで記録すれば、秒単位で記録媒体を作成管理できる。このため、映像が記録された記録媒体を複数扱うような場合でも、各々の記録媒体を詳細に識別できるので、大量の映像素材も整然とした状態で管理できる。

【0016】また、編集対象となる映像が1つの記録媒体に収まるようであれば、上記属性情報を、日付時刻情報より記録情報量の少ない日付情報とすることにより、映像素材管理処理の簡素化を図ることができる。日付時刻情報または日付情報に代えて、入力手段により入力可能な文字情報を属性情報として用いれば、ユーザは、自分の思いのままの文字情報を記録媒体に記録することができ、この文字情報を検索キーとしてディレクトリを検索することができる。

【0017】また、データベース管理手段が、日付時刻情報、文字情報等の属性情報を直接ディレクトリ名としたディレクトリに映像素材属性データを一括登録管理するようにすれば、検索手段は、情報読取り手段により出力された属性情報を検索キーとして、データベース内でディレクトリを直接検索できる。

【0018】

【実施例】以下、図面を参照して本発明の一実施例を説明する。図1は、同実施例における映像素材管理装置の構成を示したものである。

【0019】図に示す装置は、映像記録再生部1、コード情報記録部2、コード情報読取り部3、映像素材データベース部4、情報検索部5、表示部6、入力部7および入力インタフェース8から構成されている。

【0020】映像記録再生部1は、映像を記録媒体であるビデオテープ9に記録する。また、同記録再生部1は、ビデオテープ9に記録されている映像を再生して、その映像を表示部6に出力する。

【0021】コード情報記録部2は、映像記録再生部1にセットされたビデオテープ9にテープを識別するためのコードデータを記録する。コードデータとしては、日付情報などが用いられる。近年は、パーソナルコンピュータシステムデータベースで用いられる映像機器においても、このような日付情報などのコードデータをビデオテープに記録する低価格の装置が利用可能となっている。こういった装置には、各々日付データ等を記録する各コマンドが用意されており、適宜記録することが可能である。また、このコードデータは、通常ビデオテープ単位で記録できる。コード情報読取り部3は、コード情

報記録部2によりビデオテープ9に記録されたコードデータを読取り、そのデータを情報検索部5に出力する。

【0022】映像素材属性データベース管理部4は、テープ9上の映像を編集用の映像素材として利用するために、映像を分割して管理する。この映像素材の管理は、素材として利用する映像の範囲情報、その素材名等を含む映像素材属性データを、管理部4に備えられたデータベース（映像素材属性データベース）に登録して行われる。データベース内では、テープ9に対応したディレクトリ、すなわちテープ9にコード情報記録部2により記録されたコードデータに対応して作成されたディレクトリにより、各映像素材属性データが管理される。

【0023】情報検索部5は、コード情報読取り部3から出力されたコードデータにより、映像素材属性データベース管理部4にて管理されているデータベースを参照し、そのコードデータに対応するディレクトリを検索する。同検索部5は、検索したディレクトリ中に登録されている映像素材の映像素材属性データをインタフェース7に出力する。

【0024】入力部6は、ユーザ操作に従い、テープ9に記録されている映像を編集用の映像素材に分割するための映像素材属性データ、作成された映像素材の選択等を指示入力する。

【0025】インタフェース7は、入力部6からの指示入力に基づいて、映像素材属性データベース管理部4で管理すべき映像素材属性データを同管理部4に出力する。また、インタフェース7は、情報検索部5から出力された映像素材属性データに基づいて、映像素材のリストを表示部8に出力する。同インタフェース7は、入力部6からの指示入力に基づいて、この映像素材リストの中から、映像素材を選択し、その映像素材の映像記録再生部1での再生を、情報検索部5から出力された映像素材属性データに基づいて制御する。

【0026】表示部8は、映像記録再生部1で再生された映像（映像素材）を表示する。また、表示部8は、インタフェース7より出力された映像素材リストを表示する。つぎに、上記構成の映像素材管理装置の動作を図を参照して説明する。まず、映像素材の設定動作を説明する。

【0027】図1において、映像記録再生部1にビデオテープ9がセットされると、コード情報記録部2は、テープ9にコードデータ“921226085520”を記録する。このコードデータ“921226085520”は、日付情報である年月日時分秒を表している。すなわち、テープ9は、92年12月26日8時55分20秒に作成されたことになる。通常、テープのラベルには、テープタイトル名が記入されている。そこで、本実施例では、このタイトル名をテープ識別名としている。

【0028】さて、コード情報記録部2によりテープ9に記録されたコードデータ“92122608552

0”は、コード情報読取り部3により読取られ、情報検索部5に出力される。

【0029】情報検索部5は、コード情報読取り部3から出力されたコードデータ“921226085520”に基づいて、映像素材に関するデータが保持管理されている映像素材属性データベース管理部4内のデータベースを参照して、このコードデータに対応するディレクトリを検索する。検索の結果、このコードデータ“921226085520”に対応するディレクトリがないことが分かると、すなわち、テープ9については、まだ映像素材の設定が行われていないことがわかると、検索部5は、映像素材設定の指示をインタフェース7に出力する。インタフェース7は、情報検索部5からの指示を受けて、ユーザに対して映像素材設定するための設定入力画面を表示部8に表示する。

【0030】ユーザは、表示部8に表示された設定入力画面に対し、入力部6を用いてテープ9上の映像について映像素材を設定入力するための操作を行う。この入力操作では、テープ9の識別名と、テープ9上の設定対象とする映像素材を指定するための映像素材情報が入力される。

【0031】本実施例ではテープ9の識別名として、同テープ9のケース（ビデオカセットケース）のラベル表示部に貼布されたラベルに記入されているテープタイトル名が用いられる。ここでは、このテープタイトル名は“A”であるものとする。また、映像素材情報は、対象とする映像素材の範囲（映像素材範囲）を示すテープスタート位置とテープエンド位置の他、この映像範囲を素材として識別するための素材名と、この素材に対するコメント情報からなる。ここで、映像素材情報は、同一テープ9について複数セット入力可能である。すなわち、本実施例では、同一テープ9について、複数の映像素材を設定することが可能である。この際、各素材毎に設定された映像範囲が、素材間で重複しても構わない。

【0032】さて、ここでは、テープ9に記録されている映像からa1～anのn個の映像素材を設定するための入力操作が行われたものとする。また、映像素材a1を指定する情報として、その範囲を示すテープスタート位置“013448”とテープエンド位置“015030”、素材名“SOZAI”およびコメント情報“ODACM”が入力されたものとする。

【0033】以上の入力操作により、テープ9の識別名（“A”）と、テープ9上の映像素材a1～anについてのnセットの映像素材情報が、入力部6から入力され、インタフェース7によって、データベース管理部4に出力される。

【0034】映像素材属性データベース管理部4は、インタフェース7から出力されたテープ識別名（“A”）をディレクトリ名とするディレクトリを作成し、このディレクトリ名“A”と情報検索部5の情報検索に用いら

10

20

30

40

50

れたテープ9のコードデータ“921226085520”とを対にして、映像素材属性データベースを管理するためのコードデータ・ディレクトリ対応テーブル（図示せず）に登録する。また、データベース管理部4は、インタフェース7から出力された映像素材情報に基づいて、各映像素材毎に、映像範囲情報（テープスタート位置およびテープエンド位置）と素材名とコメント情報からなる映像素材属性データを作成し、映像素材属性データベース内の上記ディレクトリ名“A”のディレクトリに、登録する。このときの映像素材属性データベースの内容を、ディレクトリ名と対をなすコードデータと対応させて図2に示す。

【0035】以上の映像素材属性データの登録は、他のビデオテープについても同様に行われる。ここでは、上記のテープ識別名“A”のビデオテープ9の他、テープ識別名“B”、“C”、…、“N”のビデオテープについても、映像素材属性データベース内に、対応するディレクトリB、C、…、Nが作成され、そのディレクトリにそれぞれの映像素材属性データが登録されているものとする。

【0036】このように、映像素材属性データベースでは、各テープ毎に映像素材属性データが登録管理される。この映像素材属性データベースは、ハードディスク等の記録媒体に格納されており、その内部データ構造は図3に示すように階層構造となっている。

【0037】図3において、“A”、“B”、“C”、…、“N”は、それぞれビデオテープ毎に作成した映像素材属性データを一括管理しているディレクトリであり、ルートディレクトリの下位層をなしている。

【0038】各ディレクトリ“A”～“N”には、そのディレクトリ“A”～“N”の下位層をなし、それぞれテープ識別名“A”～“N”で識別されるビデオテープから作成した映像素材属性データが登録されている。例えば、ディレクトリ“A”には、映像素材属性データa1～anが登録されている。

【0039】各ディレクトリのディレクトリ名には、前記したようにテープ識別名が用いられており、ビデオテープの内容を表現する名前でディレクトリを設定することができる。これにより、以下に詳述するように、編集者は、ビデオテープに付けたタイトル名を見る感覚で、映像素材属性データベース内の内容を参照することができる。つぎに、映像編集時における上記装置の動作について説明する。

【0040】まず、映像素材設定済みのテープ9が映像記録再生部1にセットされると、コード情報読取り部3は、このテープ9からコードデータ“921226085520”を読取り、このデータを情報検索部5に出力する。

【0041】情報検索部5は、映像素材属性データベース管理部4で管理しているコードデータ・ディレクトリ

対応テーブルを参照して、コード情報読取り部3から出力されたコードデータ“921226085520”に対応するディレクトリ名を検出する。ここでは、図2に示したように、ディレクトリ名“A”が対応しているので、検索部5はこれを検出する。その後、同検索部5は、このディレクトリ名“A”により、同データベース管理部4内のデータベースを検索する。検索されたディレクトリには、図2に示したように、映像素材属性データa1～anが登録されているので、情報検索部5は、この映像素材属性データa1～anを取り出し、インタフェース7に出力する。

【0042】インタフェース7は、検索部5から出力された映像素材属性データa1～anをもとに、例えば、素材名とコメントの対のリスト（映像素材リスト）を表示部6に表示する。

【0043】ユーザは、表示部6に表示された映像素材リストを参照して、必要な映像素材の選択し、この映像素材を表示部6に表示するように入力部6から指示入力する。

【0044】インタフェース7は、入力部6から指示入力を受けると、同インタフェース7が保持している映像素材属性データa1～anに基づいて、選択された素材に対応する映像範囲の情報（テープスタート位置、テープエンド位置）を抽出し、その範囲の映像素材の再生を映像記録再生部1に指示する。映像記録再生部1は、インタフェース7の指示を受けて、テープ9における抽出された範囲の映像素材を再生し、表示部8に表示する。

【0045】このように本実施例では、映像記録再生部1に素材設定済みのテープがセットされると、そのテープに対応する映像素材属性データが自動的に呼び出される。これは、既に述べたように、データベース内でテープ毎に映像素材属性データを一括して管理しているためである。

【0046】従来の編集システムでは、実際に映像素材が記録されているテープ等の記録媒体と、コンピュータシステム内で扱う映像素材属性データとの対応を得る手段が複雑なものであったために、システムが非常に扱いにくかった。

【0047】これに対して、本実施例では、テープを装置にセットすると、テープに記録されているコードデータにより装置側が自動的にこのテープを識別し、データベース内でこのテープの識別名をディレクトリ名としたディレクトリの検索を行い、ディレクトリを検索すると自動的にチェンジディレクトリを行うため、ユーザは、装置にセットしたテープに記録されている映像素材の各映像素材属性データに直接アクセスできる。

【0048】すなわち、編集者は、テープを装置にセットするだけで、このテープ上の各映像素材に対応する各映像素材属性データが蓄積されているデータベース内の領域に直接アクセスできる。

10

20

30

40

50

【0049】また、以上の説明から明らかなように、本実施例では、映像の変更、修正などの編集作業を行う場合に、編集対象となる映像素材の領域は、現在、装置にセットされているテープのタイトル名をディレクトリ名としたディレクトリのみとなる。

【0050】したがって、編集者は、データベース内で、現在セットされているテープから作成した映像素材に無関係な映像素材属性データを意識する必要がなくなるので、効率的な編集作業を行うことができる。

【0051】また、映像素材属性データベース内の別のディレクトリで管理されている映像素材属性データを参照する場合には、参照しようとしている映像素材に対応する映像素材属性データが登録されているディレクトリのディレクトリ名と同一のテープタイトル名（テープ識別名）の付いたビデオテープを装置にセットすれば良い。

【0052】なお、前記実施例では、複数のテープを扱うといった場合に詳細に各テープを識別するために、テープ毎に年月日時分秒の属性情報（日付時刻情報）を記録している。もし、一日に編集する映像が比較的多くなければ、この編集対象である映像は、テープ1本に収まるので、年月日だけの属性情報（日付情報）で管理することによって映像素材の管理処理の簡素化を図ることができる。

【0053】また、前記実施例では、日付時刻情報（または日付情報）のコードデータが自動的にテープに記録されるようになっていたが、ユーザが入力部6よりそのテープが識別可能な文字情報を入力し、その文字情報をコードデータとして、テープに記録するようにしてもよい。また、前記実施例では、コードデータとディレクトリ名とを対応テーブルにより対応させているが、このコードデータを直接、ディレクトリ名にしても良い。

【0054】さらに、前記実施例では、映像の記録媒体としてビデオテープを用いているが、これに限定されるものではない。例えば、レーザーディスク（LD）、CD-ROMなどのランダムアクセスできるメディア（記録媒体）を用いてシステムを構築しても何等差し支えない。この場合は、データベース内でのディレクトリ名として、各々のメディアに特有な識別名を用いることで対応することができる。

【0055】

【発明の効果】本発明によれば、記録媒体毎にディレクトリを作成し、このディレクトリに記録媒体に記録され

ている映像中で編集対象となる映像素材の属性を示す映像素材属性データを登録しているので、データベース内では、記録媒体毎に映像素材を一括管理することができる。このため、記録媒体と、この記録媒体上の個々の映像素材とが1対1に対応する。

【0056】また、上記ディレクトリのディレクトリ名として映像が記録されている記録媒体の識別名を用い、さらに、この識別名と、記録媒体に記録されている日付時刻情報、日付情報等の映像属性情報との対応付けを行うことにより、記録媒体を装置にセットしただけで、記録媒体に記録されている映像属性情報を検索キーとして、データベース内を検索することができる。このため、この記録媒体上の映像素材に対応する映像素材属性データを自動的に呼出すことができる。また、上記ディレクトリのディレクトリ名として映像属性情報を用いるならば、映像属性情報を検索キーとして直接ディレクトリを検索することができるので、ディレクトリ名を記録媒体識別名とした場合と同様に、上記映像素材属性データを自動的に呼び出すことができる。

【0057】すなわち、編集者は、複数の記録媒体から各媒体毎に作成した大量の映像素材の内、現在、装置にセットされている記録媒体から作成した映像素材だけにアクセスすることができる。したがって、編集者は、記録媒体毎に作成した個々の映像素材が、どの記録媒体に記録されているのかを意識せずに、必要な映像素材を扱うことができる。また、本発明によれば、ユーザが自分の思いのままに入力した文字情報を属性情報として、記録媒体に記録することにより、映像素材の管理が容易になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る映像素材管理装置の構成を示すブロック図。

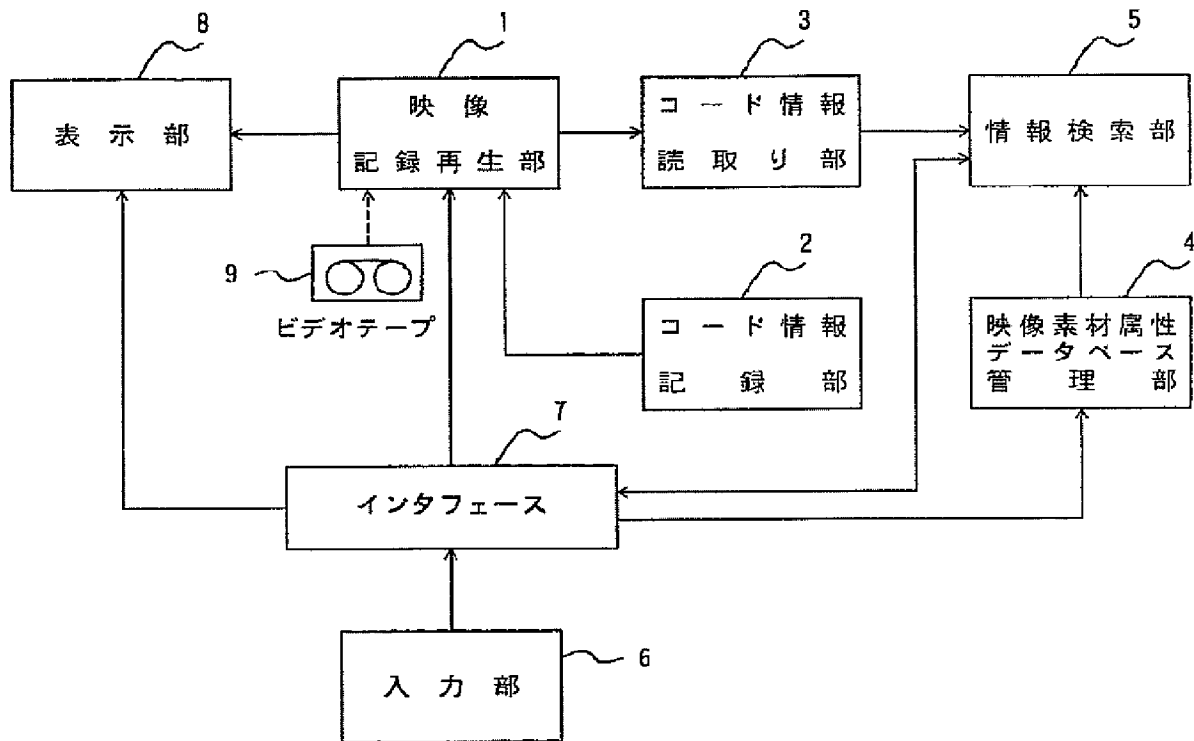
【図2】図1の映像素材属性データベース管理部4で管理されているコードデータ、ディレクトリ名および映像素材属性データの対応関係を示す図。

【図3】図1のデータベース管理部4で管理されているデータベース内の階層構造を示す図。

【符号の説明】

1…映像記録再生部、2…コード情報記録部、3…コード情報読取り部、4…映像素材属性データベース管理部、5…情報検索部、6…入力部、7…インタフェース、8…表示部。

【図1】



【図2】

テープ識別名 日付コードデータ (ディレクトリ 名)		映像素材属性データ		
.....				
.....				
921226085520	A	データ a ₁	データ a _n
.....				
.....				
テープスタート位置		テープエンド位置	素材名	コメント
0 1 3 4 4 8		0 1 5 0 3 0	SOZAI	ODA-CM

【図3】

